

# 裁判員等経験者との意見交換会

令和5年2月3日、6名の裁判員等経験者と裁判官、検察官及び弁護士との意見交換会を開催しました。今回の主なテーマは、「犯罪被害者・遺族が刑事裁判に参加した事件について」でした。

さいたま地方裁判所

## 1 裁判員等経験者が担当した事件の概要

事件の罪名	認否	争点	職務従事期間
道路交通法違反、危険運転致死等	自白	量刑	6日（審理3日）
強制性交等致傷、銃砲刀剣類所持等取締法違反	一部否認	犯行態様	7日（審理4日）
住居侵入、強盗・強制性交等	自白	量刑	5日（審理3日）
傷害致死、強制わいせつ致傷	一部否認	(1)被告人が傷害致死被害者に対し首を絞める暴行を加えたか、(2)被告人は同被害者の首を絞める暴行に及んでいることを認識していたか	9日（審理5日）
強制わいせつ致傷	自白	量刑	4日（審理2日）

※職務従事期間に、選任手続期日は含まれません。

※この開催概要は、主だった御意見・御感想等の要旨のみを掲載しています。

## 2 裁判員等を務めた全般的な感想等

被告人が被害者遺族に対して全く謝罪をしていなかったり、遺族が感情をあらわにする場面があったりと痛々しい事件だったが、非常に良い経験になった。
事件の内容を聞いて、裁判員等を選ばれる前はやりたくない気持ちだったが、やってみると、なかなかできない経験だと思うようになり、終わるころには他の事件も担当したいという気持ちになった。
勤務先でも会議があり、話し合いも当たり前のようにやってきたが、裁判員等としての経験は、話し合うということの本当の意味が分かるようなものだった。
事件の内容を知り、どういう結論に持っていくことになるのか不安だったが、裁判官が無理のない形で進行してくれて、納得のいく話し合いができた。一方、勤め人なので10日間も参加するのは結構な負担であり、もう少し短くならないかと思うところもあった。
選任期日に来るまでは、どうせ選ばれないだろうくらいの軽い気持ちでいた。裁判員等選ばれて勤務先に連絡したところ、快く送り出してもらうことができた。犯罪を繰り返す人はどういう心境なのかや、どのように刑が決まっていくのかが分かり、良い経験になった。
裁判についての知識はなかったが、結論に裁判員の意見もしっかり反映されていることが分かり、良い経験となった。事件や裁判に関するニュースを見ることがあるが、裁判員等を経験したことで、裁判について広く知ることができたのが良かった。

### 3 被害者参加制度の理解について

検察官と被害者参加弁護士の活動の違いを改めて問われると、理解していなかったと思う。コロナ禍でマスクをしていることや、検察官と被害者参加弁護士が同性であったこともあり、どちらが発言をしているのか分かりづらい場面もあった。

被害者参加弁護士は、法廷に立ちたくない被害者の思いをそのまま伝えているというイメージが持てたので、検察官と混同するようなことはなかった。被害者参加弁護士がいたから、被害者の気持ちが伝わったという部分があった。

### 4 被害者の証人尋問について

被害者の証言により、被害者が肉体的にも精神的にも傷を負ったということが理解できた。ビデオリンク方式による証人尋問であったが、被害者が法廷に来られなくても被害者の気持ちをくみ上げることができるのは良いことだと感じた。ただ、声が小さくなると聞きづらくなったり、マスクをしていて表情が分かりづらいということもあった。

私が担当した事件もビデオリンク方式による証人尋問であったが、実際に表情を見ながら証言を聞くことができたので、分かりにくいということはない。証言台に立って話をしているのと同じ感じだった。

### 5 被害者等の心情等に関する意見陳述について

心情等の意見陳述はとても印象に残っている。被害者参加弁護士による代読であったが、十分、心情等は伝わった。被害者等からの生の声を聞きたいとは思わなかった。

もし被害者等の生の声が聞けていたら、より深い話し合いができたかもしれないし、もう少し受け止め方が違ったのかなと思うところもある。

心情等の意見陳述により被害者等の感情に踏み込むことで、裁判が無味乾燥にならない感じがした。

### 6 被害者参加人の事実又は法律の適用に関する意見陳述について

検察官の論告の後、被害者参加人の事実又は法律の適用に関する意見陳述が行われたかどうかは記憶にない。

検察官の求刑と被害者参加人の求刑は、それほど違わなかったという程度の記憶である。

検察官の論告との区別は、あまりついていなかった。

### 7 量刑に関する評議について

どれくらいの刑が妥当か素人には分からないため、やはり目安は欲しい。事例一覧がないと、感情任せになっていたかもしれない。

事例一覧を見て、一般人が思っているより刑が軽いと感じた。

ご参加いただいた皆様、  
貴重な御意見、ありがとうございました。

